

## 理科・環境教育助成 成果報告書

第2回 期間：2004年11月～2005年10月

氏名：飯塚 貞夫 所属：伊勢原市立成瀬小学校

課題名：既存の岩石園を生かす自然学習環境整備に伴う学習プランの構築

### 1. 課題の主旨

○先人が26年前に苦勞して作り、他には見られない、今では荒れて使いにくくなっている既存の岩石園がある。その岩石園を見た子ども達が自分たちの岩石園として、自分の岩石として、その岩石園を県立生命の星・地球博物館の先生のアシストにより、6年生が理科学習「大地のつくり」「大地の変化」という学習を通して主体的に環境整備をし、オンリーワンプロジェクトとして、未来へつなげていきたい。

オンリーワンプロジェクトとは、世界に一つだけの岩石園を作ること。

○3年計画の1年目とし、6年生がやり終えたところまでを5年生に伝達し3年間での完成を目指す。

○本校は、耐震工事などに伴い3年間校内の工事を進めてきた。そのため、学校全体の環境整備が遅れている。だから、校地内の岩石園・畑・雑草園(昆虫)を中心に子どもにとっての学習がより活性化するように教材開発・環境整備を学年の発達段階を考慮して行いたい。

### 2. 活動状況

県立生命の星・地球博物館の平田大二先生の指導助言のもと、岩石園を含めた中庭のリニューアル計画を立て、さらに、平成16年度も平成17年度も6年生の「大地のつくり」の単元で授業にも参加していただいた。そして、国研の統括研究官五島政一先生にも平成17年度に「大地のつくり」の単元で授業に参加していただいた。

岩石園を含む中庭のリニューアル作業は、今年度の夏休み明けが本格化し、労力などは以下の方々が無償で協力してくださった。

杉崎さん(児童の祖父母)、杉山土建、佐藤工務店、大山の磯崎絞り、高梨さん(児童の祖母)、しらさぎの会(父親の会)、6年保護者、グリーンボランティア(学校を花などで環境整備してくださっている方々)、PTA本部。

まだ、あずまや(間伐材を利用した野外学習室)の建立と看板の書き直し作業と百葉箱の移設が残っている。



### 3. 結果



かつての岩石園



リニューアルした岩石園



かつては、危険なので出入りも禁止されていた岩石園が、周辺の水槽も含めて、憩いの場としてリニューアルされ、休み時間など子ども達が散策する姿が見られるようになった。赤い道は、上ばきで歩くこととし、廊下を渡りから自由に行けるようになった。岩石園の緑の部分は、学習の時、入りやすくした。奥に見える柱は、岩石園東側に読書などのできるあずまや（間伐材を利用した野外学習室）を造るための材料です。

6年生への、県立生命の星・地球博物館の平田大二先生の詳しく分かりやすい授業と指導助言や、国研の統括研究官五島政一先生の宮沢賢治に扮した授業により、子ども達は、岩石の素晴らしさ・地球の仕組みについての展望を得る機会を得て、岩石を身近に感じるようになった。また、岩石園のリニューアルにより、中庭が全校児童の憩いの場にもなった。

### 4. 今後の課題と発展

3年計画としてやってきたので、まだ完成していない部分がある。残りのあずまや（間伐材を利用した野外学習室）の建立と看板の書き直し作業と百葉箱の移設をしていきたい。

県立生命の星・地球博物館の先生が6年の学習で参画してくださっている。今後も継続していきたい。

### 5. 発表論文、投稿記事及び当財団へのご意見など

本研究に、助成していただき大変感謝しています。学校全体が良い変化をしてきました。会計の領収書等は郵送します。